

補助金事業、研究業績

文部科学省補助金事業採択一覧

文部科学省補助金事業

- 私立大学研究ブランディング事業（取組名称「『越境地域マネジメント研究』を通じて縮減する社会に持続性を生み出す大学」）（2018～2020年）
文部科学省が展開する「私立大学研究ブランディング事業」は、学長のリーダーシップの下、大学の特色ある研究を基軸として、全学的な独自色を大きく打ち出す取組を行う私立大学の機能強化の促進をめざすもので、本学は2018年度に選定されました。我が国の地方部は急速な人口減少により、縮減する社会に直面しています。民力が卓越した大都市部と異なっており、地方部では行政境界が地域経営の障害となり、縮減する社会を支える地域連携が取り難いといえます。特に県境地域はその傾向が著しいです。本事業では、愛知・静岡・長野の県境地域を対象とした「越境地域マネジメント研究」を本学三遠南信地域連携研究センターに拠点化し、その実用によって縮減する社会に持続性を生み出すとともに、全国県境地域への波及効果をめざします。
- 「スーパーグローバル大学等事業 経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援（旧：グローバル人材育成推進事業）《特色型》」（2012～2016年、現代中国学部）
若い世代の「内向き志向」を克服し、グローバルな舞台で積極的に挑戦し活躍できる人材育成をめざす大学の取組みに対し、最長5年間の財政支援が行われるもので、中部地方の私立大学では唯一本学が採択されました。学部創設以来一貫した現地主義教育と実践的な中国語教育に加え、日本理解・発信力を養成する「さくら21」プロジェクトなどの新たな教育活動が評価されたものです。
- 大学間連携共同教育推進事業（取組名称「学士力養成のための共通基盤システムを活用した主体的学びの促進」）（2012～2016年）
学士力における質保証に課題意識を持つ国立・私立、理系・文系、学部・短大の8大学と協議会、2学会が連携し、学士力に関わる共通基盤的な教育要素（教材・モデルシラバス・到達度テスト）をクラウド上の共通基盤システム上に共有し、基盤的な知識・技能を上手に活用して自ら問題の解決にあたる自律型人材の育成をめざすものです。
- 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業（取組名称「中部圏の地域・産業界との連携を通した教育改革力の強化」）（2012～2014年、短期大学部）
本事業は、中部地域大学グループ（参加23校）が地元企業、経済団体、地域の団体、自治体等と密接に連携し、アクティブラーニングを活用した教育力の強化やインターンシップ等を中心とした地域・産業界との連携力の強化に取組み、社会的・職業的に自立し、産業界のニーズに対応した人材育成に向けた教育改善・充実を図り、国として財政支援を行うことを通じて、幅広い職業人養成に比重を置く大学の機能別分化に資することを目的としています。
- 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（取組名称「東亜同文書院を軸とした近代日中間係史の新たな構築」）（2012～2016年、東亜同文書院大学記念センター）
東亜同文書院大学記念センターは、1993年に設立して以来、20世紀前半期に上海に半世紀存続した本学の「生みの親」ともいえる東亜同文書院大学（以下、書院）の総合的研究と、書院を継承した愛知大学研究の研究機関です。2006～2010年に実施された文部科学省私立大学学術高度化推進事業（オープン・リサーチ・センター）においても、書院の存在を世に広く啓蒙した成果が高く評価されました。本研究（5年間）ではさらなる要望に応え、書院の先駆的な教育システムが果たした近代日中間係・国際関係における歴史的役割を5つの研究グループのもと実践研究（語学・大調査旅行・卒業生生軌跡など）をしています。国際シンポジウムや研究会、展示会・講演会の開催、出版物の刊行をとおして研究成果を公開するとともに、東亜同文書院大学記念センターの博物館研究施設への発展を進めています。

文部科学省共同利用・共同研究拠点：越境地域政策研究拠点（2013～2018年、三遠南信地域連携研究センター）

文部科学省「共同利用・共同研究拠点」制度における「越境地域政策研究拠点」に、2013年から6年間認定されました。越境地域政策における地域データ整備から将来予測、政策合意形成に至る総合的な政策研究をめざします。国内外の越境地域に関する研究機関との共同研究を促進するために、学外研究者対象の公募研究および学内研究者主体の越境地域基盤研究を実施し、拠点研究機関としての研究力充実を図りました。シンポジウム（フォーラム）・研究会の開催、研究紀要・書籍（ブックレット）の発行等で「越境地域研究」実績を公開し、全国的な研究機関連携、研究者ネットワーク形成を促進し、共同研究参加機関は127機関となっています。

2024年度科学研究費助成事業採択者一覧(代表者分)

■新規

研究種目	所属	職名	氏名	研究課題名
学術革新領域研究(A)(公募研究)	法学部	准教授	吉良 貴之	「尊厳」概念の目的論的理解に向けた法哲学的考察
基盤研究(C)	国際コミュニケーション学部	教授	加納 寛	「盟邦」タイからみた「大東亜文化建設」の理念と具体像
基盤研究(C)	地域政策学部	教授	後 房雄	コミンテルン支部各国共産党の自由民主主義社会への適応過程—日仏伊共産党の比較研究

*挑戦的研究（萌芽）の交付内定発表は、7月の予定。

■継続

研究種目	所属	職名	氏名	研究課題名
基盤研究(B)	国際問題研究所	名誉教授	小崎 隆	SDGs達成に向けた課題解決型学習パッケージを用いた包括的土壌教育手法の開発
基盤研究(C)	法学部	教授	大川 四郎	第二次世界大戦中の日本軍占領地における赤十字国際委員会代表の活動について
基盤研究(C)	法学部	教授	岡田健太郎	独立調査委員会制度の比較研究 カナダ・旧英領諸国との比較分析と日本への制度的示唆
基盤研究(C)	法学部	教授	小林 真紀	フランス保健医療民主主義から見た持続可能な生命倫理法制の整備に関わる研究
基盤研究(C)	法学部	教授	立石 直子	婚姻制度の中立化に関する調査研究—事実婚、同性婚の架け橋となる制度設計を目指して
基盤研究(C)	法学部	教授	村瀬 智彦	幼児の体力・運動能力の現状と年次推移把握のための持続可能な資料提供システムの構築
基盤研究(C)	法学部	教授	吉垣 実	確定判決の効力を受ける第三者の救済方法：会社組織関係訴訟における許容再審の許容性
基盤研究(C)	法学部	准教授	吉良 貴之	行政国家と行政立憲主義の法原理——行政法哲学の基盤構築
基盤研究(C)	法学部	准教授	朴 瑞庚	外国語の音声学習における自己モニタリングの役割に関する研究
基盤研究(C)	法学部	助教	宇野由紀子	高校生の政治教育の内容と制限の変遷についての研究
基盤研究(C)	経済学部	教授	打田委干弘	親族企業の事業承継の安定性に関する理論と社会資本の影響も考慮した実証：沖縄の事例
基盤研究(C)	経済学部	教授	竹田 陽介	ポストコロナ危機におけるサプライチェーンの安定性に関する動学的ネットワーク分析
基盤研究(C)	経済学部	准教授	蓮井 康平	日本のマクロ経済の長期停滞とゼロ金利政策に関するDSGEモデルによる包括的な分析
基盤研究(C)	経営学部	教授	一木 毅文	取締役の機能を代替するキャリア指標を用いた取締役会の機能と機能間の相互作用の特定
基盤研究(C)	経営学部	教授	岩田 眞典	災害救助シミュレーションによる動的確率的環境下での多目的分散制約最適化問題の研究
基盤研究(C)	経営学部	教授	大北 健一	A Study of Competition Strategy in the Apparel and Fashion Industry: International Brand Licensing
基盤研究(C)	経営学部	教授	太田 幸治	消費者の自己認識欲求が購買時の製品・サービスの価値の予見に与える影響
基盤研究(C)	経営学部	教授	古川 邦之	火道内マグマの脱ガスと黒曜石形成過程の解明：噴火多様性の理解に向けて
基盤研究(C)	経営学部	教授	山田 浩喜	小売業の消費者行動を解明するための新潜在要因によるNeo購買行動モデルの開発
基盤研究(C)	現代中国学部	教授	土橋 喜	授業のエンゲージメントの可視化と学習ログのリアルタイムプロセスマッピングの研究
基盤研究(C)	国際コミュニケーション学部	教授	岩田 晋典	東亜同文書院「大旅行」後期の実態：『大旅行誌』デジタルアーカイブの作成と内容分析
基盤研究(C)	国際コミュニケーション学部	教授	塩山 正純	表現媒体としての問答テキストの系譜から見る近代西洋人の官話研究
基盤研究(C)	国際コミュニケーション学部	教授	塩山 正純	「女性」の視点による記録とテキストから複眼的に見る近代西洋人の「官話」研究
基盤研究(C)	国際コミュニケーション学部	教授	高村めぐみ	日本語教師の母方言を生かした「機能表現指導の指標」
基盤研究(C)	国際コミュニケーション学部	教授	永田 道弘	探偵小説の映画化にみる、ナチ占領下の表現規制と映画ジャンルの発展の相関関係
基盤研究(C)	文学部	教授	井藤 寛志	無意識的な模倣が生じるメカニズムの解明—行動指標と近赤外分光法による検討—
基盤研究(C)	文学部	教授	井藤 寛志	他者の行動を無意識的に模倣することに関与する脳神経基盤の解明
基盤研究(C)	文学部	教授	緒方 賢一	明清期の蘇州庭園に関する研究
基盤研究(C)	文学部	教授	加藤 潤	イギリスのナショナル・カリキュラムとフリースクール思想の葛藤に関する分析
基盤研究(C)	文学部	教授	土屋 葉	障害女性をめぐる差別構造および差別的状況についての構造的解明
基盤研究(C)	文学部	教授	平高 史也	第2言語としてのドイツ語教育—移民の子どもに対する日本語教育への応用を目指して—
基盤研究(C)	文学部	教授	松岡由希子	明治の「歴史史料」にみる地域に生きた「知識労働者」のリテラシー形成とキャリアパス
基盤研究(C)	文学部	教授	矢野 昌子	大学生のメモ取り行動の機能化を促す環境条件の検討
基盤研究(C)	文学部	准教授	安達 悠子	組織・集団・個人レベルの諸要因が組織学習に及ぼす影響
基盤研究(C)	文学部	准教授	田藤 裕祐	初期キャリアにおける職業的地位および労働条件と労働観の双方向的な作用の解明
基盤研究(C)	地域政策学部	教授	尼崎 光洋	若年者の性感染症の予防に対する実行意図を高める教育プログラムの開発
基盤研究(C)	地域政策学部	教授	斉藤 徹史	入札契約制度の新たな基礎的価値の構築：歴史と比較法からの考察
基盤研究(C)	地域政策学部	教授	山口 治子	リスク情報とベネフィット情報の提供による消費者の情報ニーズの変容に関する研究
基盤研究(C)	地域政策学部	准教授	平井 太規	「マルチタスクとしての家事・育児時間」に関する実証的研究
基盤研究(C)	地域政策学部	准教授	平 侑子	「感情労働」概念の再構成と観光業への適用
基盤研究(C)	短期大学部	教授	杉本 貴代	乳幼児期の社会相互作用と認知発達に関する縦断研究—脱文脈化発話の効用を探る—
基盤研究(C)	短期大学部	教授	遊間 義一	再犯状況からみた性犯罪受刑者における犯罪行動の特殊・固定化と多様化
基盤研究(C)	東亜同文書院大学記念センター	名誉教授	藤田 佳久	清末・民国期の中国における「会館」、「公所」の展開と経済地域の再編成
基盤研究(C)	東亜同文書院大学記念センター	研究員	石田 卓生	東亜同文書院大学の中国語教育システムの解明と関係資料データベースの構築
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	国際問題研究所	名誉教授	小崎 隆	不耕起農法はアジアにおいても土壌炭素貯留機能を高めるのか？
挑戦的研究(萌芽)	文学部	教授	岡本 耕平	洪水時の避難行動への時間地理学的应用
若手研究(B)	文学部	准教授	安達 悠子	記憶錯誤に起因する不安全行動とその抑制に向けた安全対策の探究
若手研究	経営学部	教授	山田 浩喜	ベイズモデリングによる小売業顧客維持戦略の新展開
若手研究	経営学部	准教授	地村みゆ子	20世紀初頭の米国社会における先住民女性の政治力
若手研究	経済学部	助教	松坂 雅子	前工業化時代のデザインの分析——18世紀自然主義様式のイギリス絹織物を中心に
若手研究	国際コミュニケーション学部	准教授	平田 晶子	法の生成と感情に関する人類学的研究—芸術領域における知的財産法を事例として
若手研究	現代中国学部	准教授	小川 典子	継承中国語学習者のアイデンティティと言語能力の縦断的研究：大学外国語教育への提言
若手研究	文学部	准教授	横山 麻衣	日本の状況に即した強かん神話尺度の開発と、強かん神話支持要因の包括的解明
若手研究	地域政策学部	准教授	佐藤 弘隆	祭礼存続のストラテジーに関する都市社会地理学的研究
若手研究	法務研究科	准教授	岩崎 正	違法な捜査手続に対する刑事手続上の法的効果をめぐる総合的研究
研究活動スタート支援	経営学部	准教授	横井 桃子	日本社会における移民宗教の受容プロセスへのジェンダーの影響の解明